

50



海軍

一 一六 受信一九〇五〇 譯了一九三五 電〇七六八四 航作 本機〇

● 總無線艦所用共通符號

● 奪取航空基地・第六艦隊F

● 聯合艦隊F・第三航空艦隊F

機密第一六一四五三番電

發 第四艦隊參謀長

宛 一KFGB指揮官・第六艦隊參謀長

通報 QF參謀長・第三航空艦隊參謀長

二十五日十六日共當方面天候不良ノ爲PU偵察實施不能明十七日同
様ノ天候ト認メラルルニ付戰果偵察ハT一一命令作第一號ニ依ル第
五次偵察ト併セ實施ノコトト致度

三X日PU攻撃狀況判明シアラバ知ラサレ度。

通八七六四 呂三B(五一二五KC)四通

55



一 一七
受信、二二五五四
譯始、二二五五四

譯了、二二二三〇
電〇八三二一

兵艦文災
備政庫作



大 總 長 臣
海上護衛總口

機密第一六二〇三二番電

第一護衛艦隊機密第二三一九〇七番電（十二月）聯
第五四海防艦ハ當分應急修理完成ノ見込無シト認メラルル處敵情ニ鑑ミ
所在陸軍ニ依頼處分ノコトニ致度御許可ヲ乞フ

通九一八九 呂二日（九一四五）高渾

56

作

緊急

一七 受信一六三二 譯了二三五九 電〇八三二八 作機〇
譯始二二〇〇

◎ 總無線艦所用共通符號

◎ 聯合艦隊口・第二艦隊口

◎ 大海參一部長・南西方面部隊口・五艦隊口

機密第一七一二〇六番電

發 二S D司令官

宛 參謀長

G 機密一四一四五一番電ニ依ル矢矧以下ノ高雄方面進出ハ第二遊撃部隊ト合同ノ爲メ進出ナリヲ輸送ナリヤ不明ナルモ何レニスルモ重要ナル作戦行動ニシテ且今後ノ作戦指導ノ見地ヨリスルモ本職矢矧ニ乘艦指揮スルヲ適當ト認メテル處當方面差當リ積極作戦見込立メザル現状ニ於テハ當隊機密第一五〇九五番電關聯空輸ニ依リ速ニ旗艦ヲ日向ニ變更致度何分ノ御指示ヲ得度。

作

作戰緊急

一一七

受信二〇〇一四〇八

譯了二一一〇

電〇八三二五

作 概〇

南

南西方面艦隊口、二、五艦隊各口、第二水雷戰隊

第

第十七驅逐隊、矢矧、雪風

機密第一七一九一二番電

發 聯合艦隊參謀長

聯合艦隊機密第一四一四五一番電關聯

矢矧 第十七驅逐隊（磯風 雪風）ノ南方進出ハ當分之ヲ取止メラル

通九三〇二 呂一Bケ三（B）（G）（H）

作

一八一七

受信二三三五
譯始〇〇〇五

了〇一二〇 電〇八三二七

航作
本概〇

龍華航空基地

海軍省・海上護衛總隊P・九五一空
軍司令部・第一護衛艦隊P・佐 領P

航空本部・(鈴谷)・支那方面艦隊P・上海根P

機密第一七一九四二番電

本十七日一四五五ヨリ一五〇五ノ間敵戦闘機P一五一 十數機ノ奇襲

(機銃掃射)ヲ受ク

一 戦果ナシ

二 被害

(イ) 戦闘機炎上十七機 (零戦十三雷電四機)

(ロ) 艦攻炎上六機

(ハ) 格納庫一棟小火災 (使用ニ差支ナシ)

(ニ) 人員戦死三名重傷一名

三 運動可能機數戦闘機五機艦偵要修理四機艦攻一機要整備機四機。

通九四二一 呂一〇



一八七 受信 〇二三二一 一八言丁 〇二二〇 電〇八三三四 航作 本〇

一聯合基地航空部隊戦闘概報着信艦所

タバ才第一航空基地

機密第一七二〇五五番電

H三AB 戦闘概報 (十七日)

一 一〇〇一 一三〇B 一 二四 八機來襲タリヤオン附近爆撃被害

ナシ

一 五三五 一 一五四五 B 一 二四 一機通過南行

二 明日實動天山一機。

通九四〇〇 呂二B (七八五五 KC) 三二二通

60



緊急

一八 受信 始 一〇三〇〇 譯了 一三五〇
電〇八五三七 航作 概 本〇

● 第一機動基地航空部隊指揮官所在基地

● 小崗山司令部

機密第一七二二四六番電 二分ノ一、二

發 一 G F G B 參謀長

貴機密第〇八一二一〇番電返

(イ) ラオアグ (ロ) アバリ (ハ) ツゲガラオノ順

一、(イ) (ロ) 共海軍保有ナシ燃料、陸軍ヨリ借用 (保有量調査中)

二、燃料油自動車 (手動燃料ポンプ) 海陸軍ノ順

(イ) 一 (ロ) 一 一 二

(ロ) 〇 (一) 一 一 二

通九五五、九五五〇 壽一Bケニ (一) 〇ニ六五 (C) 一 G F G B N

(ハ) 一(一) 三・一四

三 整備員數量ノ順

(イ) (ロ) 各二〇・一〇 (ニ) 三〇・二〇 何レモ實動約六〇%

四 (イ) 陸攻正規状態程度ニテ發着可能

(ロ) 目下雨期ナル爲常時陸攻ノ發着困難小型機ハ支障ナシ各航空基

地共現戦況ニ於テハ夜間一・二機同時發着可能ナル程度ナリ

五 送信機受信機電信員暗號員ノ順

(イ) 短移一・空三號一・特受二・一三・八

(ロ) (兵器ナシ基地隊ト聯合通信實施中) 三・二

(ハ) 短移一空三號一(短移動一特受三)「エチアゲ」ヨリ移裝中(五・

二) 六・四「エチアゲ」ヨリ移動中)

61

親展授

一 志 駿 越 二五〇五 得丁 二四二〇

〇〇〇九二二二七
九四二七八
三令、全員、一人、
本、監、取、事、本

● 陸 軍 本 部

● 在 海 陸 大 使 館 駐 在 官
(ルリソ)

高 級 官 員 一 海 陸 大 使 館 駐 在 官 三 分、一、二、三、一、三、一、二、二、三、〇

海 陸 大 使 館 駐 在 官

海 陸 大 使 館 駐 在 官

技 術 研 究 交 渉 夕、夕、甘、功 績、(、) 上、技 術、格 納 機 關、ノ、性 格

ノ、明 敏、ノ、頭 腦、ノ、熟 練、セ、ル、研 究、力、ト、以、テ、其、ノ、常 務、セ、ル、技 術 情 報、

整 理 充 實、ノ、精 力、ヲ、持、テ、戦 時、下 海 陸 空、ノ、進 展、ニ、寄 與、セ、ル、大

第 十 部 第 四 卷

海 軍
通 九 九 九
五 六 九
一 七 一
三 〇 一
茂 田

夫々時々今期は於テハ新舊監督自交際ノ後ヲ受ケ預備トシテ連絡觀察
 其職ノ能高敷ニ置テ新任不備ノ監督ヲ補佐シテ其ノ活動ニ支障ナ
 カラシメ交際期ニ於テハ監督實業推進力ヲ低下ヲ防止シ得ルルト共
 ニ「ハンシエル」社ノ多量生産技術導入ニ當リテハ交際ノ人手整理
 輸送ニ格段ノ努力ヲ爲セリ本人ハ其ノ優秀ナル人技術者ヲ選シテ
 昭和十九年十一月時ニ選スレテ英國法達官附トシテ調査ヲ命ゼラ
 レ難測キテ在滿滿鐵一年九ヶ月締結一貫通關其ノ職務ヲ充テシ其ノ
 人協力並共ニ衆人ノ等シク設スル職ニシテ其ノ國譽ヲキル功績技師
 ナリ

現職中井トシヨ 功績(新舊)上 昭和十九年六月七日駐本業務領
 事ヲ命ゼラレテ以來「只ケツト」飛行機用藥劑關係ノ要員ニ從事シ
 其ノ優秀ナル科學ニ對スル本領上異常ノ努力ト旺盛ナル責任觀念ト
 ニ依リテ其ノ實績ヲ舉ゲ我々國「只ケツト」機ノ實業研究並備ニ

領大ノ功績ノ大ナルモノト認ム得ニ在爾時海軍ヲ通シ此ノ積蓄技
術者全然ナクシ得若シ本人ナカクモ其功績五分ナル成果ヲ得
ルシモノト認ム

職任ヲタタコイテ 功績ハ兼務上 工作機械ニ関スル優秀ナル
技術ヲ兼達セル際學力トテ活用シツテ工作機械ノ製造殆ド不可
ニ限リタル現状ニ於テ其ノ重要部分ノ選定或ハ國面ノ入手等百方
手段ヲ盡シテ輸送難ノ快ヲ得セツテ學力ナル功績ノ大ナル
職任上野安ハオモノヤスシニ 三菱社員購買事務職任ノ功績ハ勤
務ニ中歐洲各國ニ亙ル購買品(含民需品)ニ對スル複雜ナル運賃
保險料ノ整理ヲ一手ニ擔當シ克ク上長ヲ輔佐シアルノミナラス購
買事務ノ處理ノ一部ヲ兼擔當熱心ニ其ノ職務ヲ遂行シツテ功績
証(現地限)ノ神谷子マタハ富士電氣社員電氣關係職任ノ功績ハ
勤務ニ中昭和一九年八月以來現地限ノ職任ヲ命ゼラル以來無任及

第十位

海軍

運氣固保榮壽三願之熱心主務監督官の職任を克々其ノ任ヲ果シテ
 マア目下「八面」社ノ商周波阻害製造技術ヲ發見シ之ヲ技術導入
 ニ多大ノ貢獻ヲナシマツアリ

第十回 録

海軍



一八

受信二二二一〇〇 譯了〇〇一五 電〇八七六九 航作 本概〇

高 警 戸

次 官。次 長。聯合艦隊 戸

第一航空艦隊 戸?

機密第一八一七〇〇番電

62

在支米空軍ハ愈臺灣ニ對シ日二九ヲ以テスル大規模爆撃ヲ開始セリ
即チ一月十五日ニハ約二〇機嘉義陸軍飛行場施設十七日ニハ五七九
新竹海軍飛行場施設ニ對シ約一〇米間隔ニ爆撃ヲ加ヘ我ガ方大損害
ヲ蒙レリ
日二九ノ高々度大編隊爆撃ニ對スル防衛對策ヲ講ズルニ非ザレバ遠
カラズ一切ノ地上施設ハ灰燼ニ歸スベシ此ノ際戰局配備ヲ急務ト認

日九八〇五 呂一B (四七〇五〇) 高雄

63

人

至急親展

一 一九 受信一〇五五
開始一一三〇

譯了一二二〇 電〇八九七四

作本 航本〇

東京 通信隊

海上護衛總口・第一護衛艦隊口
支那方面艦隊口・廈門方面特根

機密第一

局長	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十
...

苑 大海參一部長 大海參二部長 軍務局長 人事局長

通報者 各參謀長 監本總務部長

當方面ノ戦局緊迫ノ情勢ニ鑑ミ左記促進方至急取計ハレ度

一、第二遣支艦隊機密第一四號防備強化ニ對スル増給兵器

二、第二遣支艦隊機密第一號ノ二六防備強化ニ伴フ増員（第二遣支艦隊機

密第〇七一三〇三番電参照）

三支那方面艦隊機密第一二一八〇〇番電ニ依ル魚雷落射機ノ件

四、大海機密第一二一九〇七番電ニ依ル部隊

五、大海幕一機密第二八七號ニ依ル防空砲臺

六、九〇一空甲乙派遣隊ノ充實。

通一〇一一三 呂二〇（一三五三〇）高雄

64

一 一九
受信〇九四〇五
開始一〇二五
〇八八九〇
作標 C



第一護衛艦隊 P
海上護衛總局

機密第一八二一三番電

發 〇 R F 參謀長

「サンフェルナンド」方面所在ノ貴艦隊人員ハ「バギオ」「バヨ
ン」道開通（二月上旬頃ノ見込ミ）後陸行「アバリ」方面ニ轉進
セントラルル豫定。

通一〇〇九四 呂一Bケ三（一ニ八一〇KC）三一通

海軍
5

親至急
親展

一
一九

受信
開始一三四五

一六四五

電〇九〇五二

補人
本〇

大海參一部・人事局

廳屋航空基地

暗號
極秘

機密第一九〇八五八番

發 第三四三海軍航空隊司令

志賀(二八六〇)ハ紫電改型ノ落着カザル狀況ニ於テ是非必要ニ付

中島(分工場)ニ至急派遣方御取計ハ度身體ノ狀況ハ勤務ニ差支

ナシ下川(二三三二)ハ轉出センメラルルニ已上ヲ得ヌ

(受脱)

中島
局長
課長

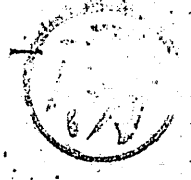
	L	
A	K	
B	I	
E	C	
J	H	
G	D	
F		

海一〇一六一ノ用二〇々三

B 佐世保

海軍

第十



一九
開始一六五〇
聯丁一六〇〇
電話九〇〇一一
艦作
本〇

至急親展

聯合艦隊

機密第一

發 三上參謀

二F司令部ノ要望中緊急要處理事項左ノ通

一、長門、龍ノ工事ニ支障ヲ及ボサザル限リ工事ヲ促進木更津沖ニテ差

礎訓練後内海西部ニ回航

三、今次一—SF綜合訓練ニ關聯

(一)目標艦トシテ訓練ヲ兼ネ一七DG (雪風)ハ出動

(二)二F、FGB間ノ協同連繫最緊要ノ爲通信關係ノミニテモ參加ス

三、響ハ訓練實施ノ點ヨリ見ルモ直ニ二Fニ編入スルヲ有利トス。

通101117、101121 呂1B (B) 吳

1532

機密第一	一六五〇	一六〇〇	九〇〇一一	艦作	本〇
聯合艦隊	機密第一	一六五〇	一六〇〇	九〇〇一一	艦作
發 三上參謀	機密第一	一六五〇	一六〇〇	九〇〇一一	艦作
二F司令部ノ要望中緊急要處理事項左ノ通	機密第一	一六五〇	一六〇〇	九〇〇一一	艦作
一、長門、龍ノ工事ニ支障ヲ及ボサザル限リ工事ヲ促進木更津沖ニテ差	機密第一	一六五〇	一六〇〇	九〇〇一一	艦作
礎訓練後内海西部ニ回航	機密第一	一六五〇	一六〇〇	九〇〇一一	艦作
三、今次一—SF綜合訓練ニ關聯	機密第一	一六五〇	一六〇〇	九〇〇一一	艦作
(一)目標艦トシテ訓練ヲ兼ネ一七DG (雪風)ハ出動	機密第一	一六五〇	一六〇〇	九〇〇一一	艦作
(二)二F、FGB間ノ協同連繫最緊要ノ爲通信關係ノミニテモ參加ス	機密第一	一六五〇	一六〇〇	九〇〇一一	艦作
三、響ハ訓練實施ノ點ヨリ見ルモ直ニ二Fニ編入スルヲ有利トス。	機密第一	一六五〇	一六〇〇	九〇〇一一	艦作
通101117、101121 呂1B (B) 吳	機密第一	一六五〇	一六〇〇	九〇〇一一	艦作

67

一一九
開始二〇〇四八
了二二一五
電〇九一五三
航作
本概〇



● 香取航空基地
● 聯合艦隊口・第六艦隊口・第三航空艦隊口

● 總無線艦所用共通符號

機密 第一九一九一四番電 二分ノ一

發 第四艦隊參謀長

宛 一 K P G B 指揮官

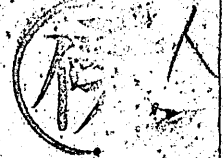
一 彩雲一機 P U 偵察ノ爲 〇五四〇 出發セシモ油壓低下ノ爲 一一三〇

P U ニ不時着明日代機ニテ實施ノ豫定。

（電信課註 本電三分ノ二未着）

通一〇三七七 呂二B盤（五一二五IC）四通

局長							
		平春					
		伊藤					



一九二〇
受信開始
二〇四五
電〇九三三九
航作概本〇

局長 課長 局員

● 香取 航空 基地

● 聯合艦隊口・第六艦隊口・第三航空艦隊口

機密第一九一九一四番電 二分ノ二

發 第四艦隊參謀長

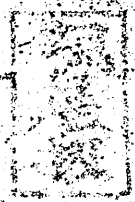
三 青機密第一九〇八一六番電返

寒島第一基地銀河用掩体九 置場一一 彩雲用掩体九 第二基地彩雲用

掩体六 楓島彩雲用掩体五 (銀河用掩体八造成中) 伏勢可能ナル洞窟ナ

東通註 本電觀字極ニテ多シ
電信課註 本電二分ノ一既配布

通一〇三八五 呂二五(五一二五) 四通 太和田(小野田)



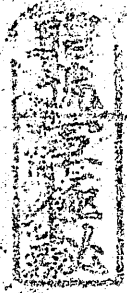
一二〇 受信〇〇九四一〇二 了 一〇一五 電〇〇九四六〇九 作機〇〇兵備 軍需・戦力

緊急



東京通信隊 聯合艦隊口・南西方面艦隊口・二南遣艦隊口

機密第一九二一五二番電 三分ノ二



昭南在勤武官

宛 軍務局長

通報 兵備局 軍需局 大海參一部 大海參二部 大海戦力補給部

當地方方面軍ニ於テハ隸下各軍ノ管下主任者會議(參集會議)ノ最後ナラシ

ト稱シ(ヲ)キ完全自活自戰態勢移行方策ニ付眞劍ナル検討ヲ加ヘツ

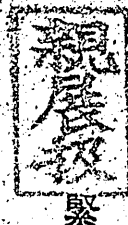
アリ而シテ之ガ目標ハ先ヅ現地陸軍ノ自活ヲ優先第一トシ海軍ノ分々

ヲモ包含考慮スルノ余裕ナキガ如シ

通一〇六四二二〇六二九 呂一B々三(二六四四〇K)十通

一方内地トノ輸送路遮断必至ノ現況ニ於テハ南方海軍モ早急ニ自活自衛ノ態勢ニ轉換ノ要切ナルモノアリ然ルニ南方海軍ノ自活ハ資源並ニ工業力等殆ド大部ヲA地區ニ求メザルヲ得ザル狀況ナルニモ拘ラズ從來當地ニ於ケル陸軍トノ啗合不充分ニシテ陸軍ニ對スル反映極メテ。

(電信課註本電三分ノ三未着)



70

一二〇 受信 一二三五 譯了 一三一五 電〇九五三七 兵概〇・戰需力

急 第一〇 通信隊

- 東京海軍通信隊
- 聯合艦隊口・南西方面、第二南遣各艦隊口

機密第一九二二一五二番電 三分ノ三

發 昭南在勤武官

宛 軍務局長

通報 兵備局 軍需局

大本營海軍參謀部第一部 軍司令部 大海戦力補給部
 設備現状ノ儘推移スルニ於テハ海軍ハ各方面ニ立後レトナリ 病局立
 枯ノ窮地ニ陥ルノ算大ナリ

通一〇六九三 呂一〇(一五九八〇〇)一〇通

此ノ際南方海軍ヲ一丸トシ自活加業上大局的ニ陸軍トノ協調嚮合ヲ
強力ニ推弦スルガ如ク機構（一例 南西方面艦隊生産補給幕僚部ノ
如キモノ）第十通信隊機密第一五二二三番電關聯（ノ緊急設置要
アルモノト痛感ス。

（電信課註 本電其ノ三分ノ一二既配布）

（東通註 第十通信隊機密第一五二二三番電要求中）

71

局長	
一課長	
A	
B	
E	

第十部

緊急
親展

一一二一
 受信開始 〇九二〇九
 〇〇九
 了 一二〇〇
 電 〇九八〇二
 〇九八三五
 補人
 本◎

東京通信隊
 小崗山司令部

暗號軍極秘

機密第二〇一〇一二番電 二分ノ一二

發 一△參謀長

宛 人事局長

營隊主力ノ臺灣移動ニ伴ヒ之ヲ指揮官（司令級）タルベキ者最小限
 七名ヲ必要トスルトニ口既ニ臺灣ニ移動ヲ了シ又ハ近ク移動可能ト
 認メラルル者ハ左ノ七名ナルモ右指揮官ニ充當シ得ベキモノハ増田
 フク元ヲ除ク五名ニ過ギズ急速立直ヲ要スベキ事情モアリ此ノ際増
 田（一月八日附横領附）ヲ營隊司令部附ニ補職方取計ヲ得度

通一〇九〇九 一一〇五九 第一B(四〇四五C) 高通
 海 軍

尙増田ハ轉進搭乗員(輸送)指揮ニ從事中

(イ)臺灣移動ヲ了セ者下田(一一六一)臺南基地指揮官 増田(

一〇八三)一月八日附横領附 福元(一七八八)重傷高病入院

中 玉井(一六六七)臺中基地指揮官

(ロ)近ク臺灣移動可能ト認ムル者天谷(一四一〇)二十二日夕バオ

發ノ豫定 八木(一八七五)ツゲガラオ基地指揮官 江村(二

一五七)ツゲガラオ迄轉進待機中。

第十卷

72



至急

一 二三 受信一四九〇人
一五〇〇 電一〇三〇 作
〇

三一通五分遣隊

東通・聯合艦隊口

機密第二〇一〇〇九番電

二分ノ二

發 南西方面艦隊參謀副長

宛 南西方面艦隊參謀長

通報 大海參一部長

「トリヤハン」河、「リブフオ」河、「マリキナ」河、「バンツグ」西

南端、「ダキグ」西側以北ヲ連ナル線（但シ「バンツグ」河ハ小林兵團

ニ含ム）ニテ包ム區域。

（電信課註、本電二分ノ一既配布）

通一三四四六 呂二八ラ十八（一二八）〇〇〇）三一通

73



二〇 受信一六〇四二 譯了一六三〇 電〇九五二八

航作 本概〇

東 運・香取航空基地

第三航空艦隊

機密第二〇一四一五番電

發 第四艦隊參謀長

宛 一 K F G B 指揮官・G F 六 F 各參謀長

P U 偵察ノ爲形雲一機〇五四〇出發セシモ目的地附近天候不良ノ爲引返ス明二十一日改メテ實施ノ豫定ナルトコロ之ヲ取止メ明後二十二日戰果偵察ノミニテ可ナル場合ハ至急通報ヲ得度。

通一〇八一四 呂二B(一七六三〇KC)四通



一 二一 受信一二五〇 開始一二三〇 譯丁一二五五 電〇九九五二

航作 本 概部

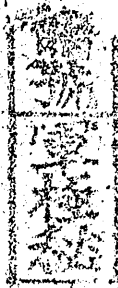
至急親展

共

符

南西方面艦隊

二遊撃部隊・第六艦隊



機密第二一〇九三四番電

發 G F 參謀長

非島方面所在ノ搭乗員其ノ他要轉進者輸送ヲ目的トシテ潜水艦一隻派遣
ヲ考慮シアル處收容地點及收容可能時期通知ヲ得度尙收容地點ヲ「スピ
ック」灣方面ニ選定^{スピック}能^ル否知ラサレ度。

通一二七〇 号一B) B) 聯合艦隊

75

局長	一課長	二課長	三課長	四課長	五課長	六課長	七課長	八課長	九課長	十課長

電信課
第十課

一 受信 〇四二一〇七
 二 譯了 〇五三〇
 三 電 一〇〇三一〇七
 四 航補 本人

人事局

大海參一部・三航空艦隊口・二五統戰

機密第二一一七五三番電 二分ノ一二

志賀へ二八六〇一十八日附轉勅令セラントルモ同人ハ元飛行實驗部ニ於テ紫電關係ヲ擔當シアリタル關係モアリ現在當部隊各飛行隊ノ搭乗員指導ニハ經歷實力共必要缺クベカラザル人物ニシテ殊ニ紫電關係機材ノ故障機出ノ現狀ニ於テ同人ノ轉出ハ當隊トシテ忍ビザルモノアリ一旦離合アリタルモノニ對シ兎角ノ要望ハ賊ニ相濟マザル處ナルモ當航空隊ノ實情及特殊任務御諒察セテ飛行長ト致度右ノ爲ノ下ニ取計ヲ得度ハ轉出セシムルコトト致度右ノ爲ノ下ニ

通二一五四八・一一五六〇 呂一B一B一B

海軍

76



一二三
受始信 〇〇三一五
三四一
〇四四八
電二〇〇二四二
電一〇〇二三九
電二〇〇三〇三
航作
概本〇

第一護衛部隊

海上護衛總口・聯合艦隊口

第一護衛艦隊口

機密第二一一一九四〇番電 三分ノ一、二、三

一月二十五日ヨリ約二十日間ノ豫定ヲ以テ第一次兩艦作戦開始セラ

ル(各級指揮官ハ最寄最高司令部ニ出頭詳細聴取スベシ)

要旨 最小艦艇及海陸軍航空部隊ヲ以テ南方物資還送船團ノ直接護

衛及間接護衛ヲ強化ス

ニ各指揮官ハ現任務達成ニ遺憾ナキヲ期スト共ニ特任事項ニ留意スベ

(1)各航空隊並ニ海上護衛隊ハ陸軍航空部隊ニ對シ現地ニ於ケル差當

通
一一一
一一一
六六六
六三六
五六〇

天Bケ三(四〇四五K)高通

1501

リ、作戰分擔ヲ速ニ協定積極的協同ヲ圖ルト共ニ船團運航狀況ヲ
速報ス

(ロ)各船團部隊指揮官並方面司令ハ船團運航豫定從來ヨリモ一層早メ
ニ關係各部ニ電報ス

77

緊急

一二三
受信 一四三二
始 一四五二

譯了 一六三〇
電 一〇五七六

作概
航本・△部



● 聯合艦隊司令部
● 第一聯合基地航空部司令部？

機密第二一〇九三四番電

發 南西方面艦隊參謀長

實機密第二一〇九三四番電返

一 搭乗員五〇〇名 主要整備員及電信員二五〇名
下「ツゲガラオ」ニ避浪中潜水艦ニ依ル收容ハ「アバリ」ノ外實施不能

二 南西方面艦隊機密第二〇一五五〇番電ノ通三一〇
通一八八〇 呂一Bヲ十八(八八八四KG)三十一通 森(雨谷)

搭乗員二五〇名ト共ニ一機
 軍輸送スル如ク手配中ニシテ「アハリ」到着時機屢照會中ナルモ「ツケ
 ガラオ」ト「エチアゲ」方面通信不如意ニシテ未ダニ回答ニ接セス
 三要輸送人員ノ飛行機ニ依ル空輸可能ノ情況ニモ圖聯一GFGBヨリ
 回答ノコトト致度。

78

一 二二二 受信〇〇八五九 譯了 一一三〇 電一〇三〇八九 航作 概〇
譯始〇〇九一五

第十三航空艦隊 戸

東通・聯合艦隊 戸

南西方面艦隊 戸

機密第二二〇一〇八番電 二分ノ二二

發 第十三航空艦隊參謀長

宛 次官・次長 G.F.參謀長

新情勢ニ對處スベキ南西方面自給自戰方策ニ付テ不日何分ノ指示ア

リトノコトナル處特ニ左ノ點考慮セララルノ要アリト認ム

一 陸軍ニアリテハ南方總軍始メ各方面軍等強力ナル軍指導機關ニ依

リ連日連夜會同具體策ヲ急ギツツアルニ對シ海軍側ノ對陸軍並ニ

通一七三二・二六八六 丹(ヨラ十八)(七五九〇KG)十通

南西方面艦隊内連絡疏通困難ナル現状ヲ以テシテハ著シク立後レ
 トナル虞レ大ナリ現ニ兵力配備ニ付テモ中央及上級司令部ヨリ何
 等指示セザル出先陸軍ヨリ濠北南東方面ノ兵力轉達通告並ニ特命
 要望ヲ續々受ケツツアリ 自給方策ノ如キハ全然通告ナク進メツ
 ツアルト 勿論依テ總括方針ハ成ルベク具体的ニハ急ノ要アリ
 三、軍政地盤ノ關係モアリテ陸軍ガ重要資源權益等ノ殆ド全部ヲ掌握
 シ居リ南方ニ於テ之ニ對立シテ海軍獨自ノ自給策ハ成立シ難ク南
 方國軍ノ全能發揮ノ爲陸海軍統合ノ要アリ

29

一二三
受信 一四〇四
譯始 一六五〇
譯了 一八〇〇

電一〇五二八八

▲航作
部本 ○

● 第二十六航空戦隊

● 第一聯合基地航空部隊 聯合艦隊口 六艦隊口

機密 第二二一〇三二番電 二分ノ二

南西方面艦隊參謀長

聯合艦隊機密第二一〇九三四番電關聯

「クラー」地区所在搭乗員及主要整備員電信員等ノ收容地點ヲ「スピ

ツク」灣（當分ノ間候補地「セリシロツク」ト豫定シ到達日時人員等

貴方ヨリ關係ノ向ニ通報アリ度

追テ當方ニ於テ判明シアル「クラー」方面ノ狀況左ノ

通主用道路「クラー」「ポートラツツコ」「ディナルバン」間ハ大ナ

道一八五六、一八六六 呂二B（八八八四K）三十一道 佐領（南谷）

橋梁ナシ

二 匪賊ノ情況「ピツク」派遣隊以西山中ニハ約三〇〇名散在シアリタルモ
 敵上陸後ノ匪勢ハ詳ナラザルモ相當ニ警戒スルヲ要ス
 三 オロンガボ所在通信艦所三一特根「ピツク」派遣隊「オロンガボ」間
 ノ山道ニハ橋梁ニ乃至二五アリ何レモ道路良好ナルモ敵上陸以後ノ爆撃
 狀況不明。



二二二
受信一三二四五

譯了一四〇〇 電一〇四二四

特作
機C

總無線艦所用共通符號

◎ 大海 參 一 部

◎ 軍務局、聯合艦隊

機密第二二一〇三九番電

發 高 警 參 謀 長

受報者特 攻 部 長

海上特攻兵力ノ施設。教育急速訓練並ニ之ガ作戰ヲ綜合統轄スベキ特攻
戰隊司令部ヲ創設セラルルヤニ仄聞セル所戰局ノ現狀ニ鑑ミ準備ノ都合
上當方面ニ配屬セラルベキ司令部ノ編制並ニ時機ニ關シ至急内報ヲ得
度。

通一八二〇 呂一四 (一三五二〇) 高通



二二二
受信一八五三
譯始二一一五
譯了二二四五

電一〇〇七
電一〇〇七
電一〇〇七
電一〇〇七

作概
〇

總無線艦所用共通符號

東京海軍通信隊・香取航空基地

機密第二二一七〇三番電 三分ノ一三

發 第四艦隊參謀長

第一TAGB指揮官 聯合艦隊參謀長 三AF參謀長

通報 大本營海軍參謀部第一部長 第六艦隊參謀長

PU偵察速報(二二日)

彩雲一機(指揮官 中村大尉)〇五三〇出發、一三五〇歸着、PU
偵察時間〇九三〇-〇九四〇、晴、視界四〇哩、偵察高度八五〇〇
米

二二二
〇〇〇
二二二

呂二(五二二五〇)四〇

H

一、目視情況次ノ如シ

(1) B三二及C二三、一八米掃海面ニ戰艦二隻、巡洋艦三隻、輸送船大一一、小二〇、油槽船大二 内戰艦一ト油槽船一横附
中ニシテ附近海面小舟艇ノ航行活潑

(2) E二五中央ニ輸送船大一

(3) F二六、G二七等ノ爲見エズ

(4) フララツブ島飛行場小型機三、四〇機アリ

(5) 火災又ハ傾斜中ノモノ或ハ油 漏出中ノモノヲ時ニ認メズ

二、寫眞判讀後報